

議案第 37 号

令和 3 年度大野市教育方針案

大野市教育委員会教育長事務委任規則第 1 条第 1 項第 1 号の規定に基づき、教育委員会の承認を求める。

記

1 議案内容 別紙のとおり

令和 3 年 3 月 23 日提出

大野市教育委員会
教育長 久保俊岳

提案理由

令和 3 年度大野市教育方針を定めるため

令和3年度 大野市教育方針 (案)

大野市教育委員会

目 次

1 大野市教育理念	1
2 教育方針策定の趣旨	1
3 目指す姿と施策、主な事業と成果指標	
子育て	2
学び	3
ひと・地域	8
文化芸術	11

1 大野市教育理念（教育に関する大綱の基本理念）

明倫の心を重んじ 育てよう 大野人

人としての生きる道を明らかにし、進取の気象¹を育てた明倫²の心は、いつの時代においても変わらない大野の学びの原点です。

私たちは、この心を大切にして、優しく、賢く、たくましい大野人になるため、学び、育てることに努めていきます。

（大野市教育理念 平成21年3月策定）

2 教育方針策定の趣旨

大野市教育理念「明倫の心を重んじ 育てよう 大野人」を普遍のバックボーンとして、優しく、賢く、たくましい大野人を育てるため、大野市の特色を十分に生かし、大野らしさが生きる教育を進めます。

大野市の人口規模や立地条件および大野市のもつ人情の厚さ、自然の豊かさ、歴史の深さなど、その長所を十分に生かすとともに、国際化社会や高度情報化社会の進展など変化の大きい社会に対応することができる人を育てる教育を推進するため、必要な事項を定めた「教育に関する大綱」に示された「基本理念」「趣旨」「目指す姿と施策」に沿って教育行政を進めます。

この方針は、「教育に関する大綱」のうち「子育て」「学び」「ひと・地域」「文化芸術」の4つの「目指す姿と施策」で、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条に規定されている教育委員会の職務権限で管理、執行する事務について、主な事業と成果指標を明確にするものです。

¹ 進取の気象 進んで新しいことに取り組む気持ちがあること。

² 明倫 孟子の「皆人倫（じんりん）を明らかにする所以（ゆえん）なり」という言葉に由来するもので、「倫」の文字には「人間同士のきちんと整理された関係」という意味があり、人として守り、行うべき道を明らかにすること。



目指す姿

安心して結婚・出産・子育てができ、すべての子どもたちが夢を持って笑顔で健やかに育つまち

(1) 結婚から子育てまで切れ目のない支援体制を確立します

①子どもの見守りや預かりなど、地域ぐるみの子育てを支援します。

(2) 保護者のニーズに応じた子育てサービスを提供します

①子どもの人権を尊重した質の高い保育・幼児教育を提供するとともに、保育士や保育教諭などのさらなる資質と専門性の向上を図ります。

②子育てにかかる経済的な負担を軽減する取り組みや子育て情報の発信など、保護者のニーズに沿ったサービスを充実します。

③放課後児童クラブや放課後子ども教室など、子どもたちの放課後の居場所を確保します。

➤ 主な事業と成果指標

事業名	事業内容	成果指標
3人っ子給食費助成事業	保護者の経済的な負担軽減を図り、子育てを支援する。	なし
放課後子ども教室事業	放課後における子どもの安全で安心な居場所づくりのため、公民館や空き教室等で、地域の大人たちが地域の子どもたちの見守り、学習や体験・交流活動を行う。	放課後子ども教室の設置箇所数 令和3年度 5か所 令和7年度 5か所 担当課 生涯学習・文化財保護課



目指す姿

子どもたちの確かな学力や夢に挑戦する力、ふるさとを愛する心を育むまち

(1) 優しく賢くたくましい大野人を育てます

- ①ふるさと大野の未来を創造する力と、自己の生き方について考える力を育てるために、さまざまな学習や体験を充実します。
- ②確かな学力を身につけるため、国や県、市の学力調査を活用した授業改善を行います。
- ③情報活用能力や論理的思考力を育成するために、タブレット端末などのICT機器を効果的に活用します。
- ④安心して通える魅力ある学校をつくるために、いじめや不登校への対策を充実するとともに、障がいや多様性を個性として受け入れる教育を推進します。
- ⑤発達に気がかりのある子どもや障がいのある子ども、要保護児童、ひとり親家庭などに対し、関係機関が連携して専門的な支援を提供します。
- ⑥家庭や学校、地域が一体となって、青少年の安全確保と健全育成を行うための環境づくりを促進します。
- ⑦親が子育てについて考え、学ぶことのできる機会をつくとともに、親子が一緒に取り組み、親子の絆を深めることができる活動を実施します。
- ⑧子どもたちに読書の楽しさを伝えるとともに読書の習慣化を促すため、図書館と学校との連携を進め、学校や認定こども園などへの図書館司書や読み聞かせボランティアの派遣を行います。

➤ 主な事業と成果指標

事業名	事業内容	成果指標
コミュニティ・スクール推進事業	保護者や地域住民等の学校運営への参画や支援・協力を促進することにより、学校と保護者・地域住民等との信頼関係を深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組む。	「学校が楽しい」と答えている児童生徒の割合 令和3年度 小学生：94.3% 中学生：89.5% 令和7年度 小学生：95.5% 中学生：91.5%
先輩に学ぼうアートドリーム事業	大野市にゆかりのあるアーティストの文化芸術の世界に触れ本物に出会うことで、豊かな心の醸成を図る。	担当課 教育総務課
ふるさと大野かがやき隊事業	児童生徒が自らの地域の自然や文化、歴史などについて学習したことを基に課題を見出し、その課題解決や地方創生に向けて他者へ発信する活動を通して、ふるさとに誇りや愛着を持ち、地域の魅力を発信できる人材を育成する。	※関連事業 ・魅力ある学校づくり調査研究事業 ・結の故郷教育相談員配置事業 ・結の故郷教育支援員配置事業 ・いじめ防止対策事業 ・スクールソーシャルワーカー配置事業 ・適応指導教室事業
魅力ある学校づくり調査研究事業	不登校の未然防止を図るため、中学校区研究会において県と連携して調査事業を実施する。	1,000人あたりの不登校児童生徒の割合 令和3年度 小学生：5.7% 中学生：19.2% 令和7年度 小学生：4.8% 中学生：16.3%
結の故郷教育相談員配置事業	児童生徒の気軽な相談相手となり、心のストレスを和らげることで、不登校を未然に防ぐ。	担当課 教育総務課
結の故郷教育支援員配置事業	発達障害等を抱えた児童生徒が、円滑な学校生活を送ることを支援する。	
スクールソーシャルワーカー配置事業	児童生徒を取り巻く環境を改善するため、スクールソーシャルワーカーを配置する。	
適応指導教室事業	不登校や学校生活に適応が困難な児童生徒に対し、相談支援や学習支援を行う。	
いじめ防止対策事業	いじめ相談カウンセラーの配置などの対策を行うことで、いじめの未然防止、早期発見、早期解決を図る。	

事業名	事業内容	成果指標
大野市学力調査事業	学力調査を実施し、児童一人一人の学力の定着を客観的に判断し、調査結果を授業改善に生かして、個に応じた指導や確かな学力の向上を図る。	全国学力・学習状況調査の市平均値と県平均値の比較 令和3年度 小中ともに県平均値と同等
国際理解教育推進配置事業	国際理解教育推進員を配置し、英語に慣れ親しみ国際感覚を身に付けた児童を育成する。	令和7年度 小中ともに県平均値と同等 担当課 教育総務課
小学校連合体育大会事業	児童の体力向上と競技力の向上並びに各校間の親睦を図る。	なし
中学校体育実技研修事業	運動部活動に所属する生徒の競技力の向上や意欲の喚起を図る。	なし
中学校体育連盟各種大会参加補助	中学生の各種競技大会参加費を補助する。	なし
放課後子ども教室事業 [再掲：子育て(2)]	放課後における子どもの安全で安心な居場所づくりのため、公民館や空き教室等で、地域の大人たちが地域の子どもたちの見守り、学習や体験・交流活動を行う。	放課後子ども教室の設置箇所数 令和3年度 5か所 令和7年度 5か所 担当課 生涯学習・文化財保護課
結の故郷ふるさと教育推進事業	家庭やふるさとへの愛着と誇りを養い、結の心を育むため、家庭教育、少年教育、公民館で行う人づくり学習事業、結の故郷ふるさと芸能発表会を行う。	18歳以下の子ども1人当たりの年間生涯学習事業参加回数 令和3年度 1.41回 令和7年度 1.45回 担当課 生涯学習・文化財保護課
子どもの読書活動推進事業	子どもの読書活動推進計画に基づき、読書環境及び資料の整備を行う。	ブックスタート開催数及び受講者数 令和3年度 16回 出生数の70% 令和7年度 16回 出生数の70% 担当課 生涯学習・文化財保護課

(2) 児童生徒の教育環境を整えます

- ①未就学時から高等学校までをつなぐ教育の仕組みづくりに取り組みます。
- ②一定規模の学習集団による教育を実現するため、小中学校の再編を進めます。

➤ 主な事業と成果指標

事業名	事業内容	成果指標
学校教育環境検討事業	子どもたちのよりよい教育環境の充実を目指した学校規模の適正化を推進する。	大野市小中学校再編計画の改訂と推進 令和3年度 再編計画(案)の説明会 20回程度 計画の改訂 令和7年度 計画の推進 担当課 教育総務課
小学校施設維持補修費 中学校施設維持補修費	施設の適切な維持管理のための補修等を行う。	なし
小学校施設営繕事業 中学校施設営繕事業	破損または老朽化した学校施設を整備する。	なし
小学校高度情報化教育推進事業 中学校高度情報化教育推進事業	GIGA スクール構想による学校教育の充実化を図り、新しい時代に向けた魅力ある大野市らしい教育を推進するとともに、時代に負けない「生き抜く力」「論理的な思考」などを培う。	I C T機器の活用に関する 教員研修 令和3年度 3回 令和7年度 3回 担当課 教育総務課
3人っ子給食費助成事業 [再掲：子育て(2)]	保護者の経済的な負担軽減を図り、子育てを支援する。	なし
学校運営支援員・部活動指導員配置事業	教員の業務負担の軽減を図るために教員の支援員や部活動指導員を配置し、教員が児童生徒の指導、教材研究等に注力できる体制を構築する。	時間外勤務月80時間以上の教員の人数 令和3年度 小学校：0人 中学校：0人 令和7年度 小学校：0人 中学校：0人 担当課 教育総務課
放課後子ども教室事業 [再掲：子育て(2)]	放課後における子どもの安全で安心な居場所づくりのため、公民館や空き教室等で、地域の大人たちが地域の子どもの見守り、学習や体験・交流活動を行う。	放課後子ども教室の設置箇所数 令和3年度 5か所 令和7年度 5か所 担当課 生涯学習・文化財保護課

(3) 地域と学校が連携して子どもの育ちを支えます

- ①家庭や地域、学校、公民館の連携により、子どもたちの豊かな成長を支える「コミュニティ・スクール」を推進します。
- ②放課後児童クラブや放課後子ども教室など、子どもたちの放課後の居場所を確保します。
- ③地域による登下校の見守り活動を行うとともに、地域ならではの行事への参加や自然との触れ合いなど、子どもたちの人や自然と関わるさまざまな機会をつくります。
- ④地域の伝統行事や伝統芸能、伝統料理などを子どもたちに伝える活動を推進します。

➤ 主な事業と成果指標

事業名	事業内容	成果指標
コミュニティ・スクール推進事業 [再掲：学び(1)]	保護者や地域住民等の学校運営への参画や支援・協力を促進することにより、学校と保護者・地域住民等との信頼関係を深め、学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組む。	「学校が楽しい」と答えている児童生徒の割合 令和3年度 小学生：94.3% 中学生：89.5% 令和7年度 小学生：95.5% 中学生：91.5% 担当課 教育総務課
ふるさと大野かがやき隊事業 [再掲：学び(1)]	児童生徒が自らの地域の自然や文化、歴史などについて学習したことを基に課題を見出し、その課題解決や地方創生に向けて他者へ発信する活動を通して、ふるさとに誇りや愛着を持ち、地域の魅力を発信できる人材を育成する。	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査) 令和3年度 小学校：69.0% 中学校：45.0% 令和7年度 小学校：74.0% 中学校：47.5% 担当課 教育総務課
教育児童事務経費(夏休み子どもチャレンジ事業)	夏季休業中、各公民館を会場に児童の交流体験事業を行い、ふるさと大野に対する視野を広げ、愛着を深める。	
食育推進事業	子どもの食に対する関心を高めるとともに、保護者の「子どもの食」に対する意識の向上を図る。	
放課後子ども教室事業 [再掲：子育て(2)]	放課後における子どもの安全で安心な居場所づくりのため、公民館や空き教室等で、地域の大人たちが地域の子どもの見守り、学習や体験・交流活動を行う。	放課後子ども教室の設置箇所数 令和3年度 5か所 令和7年度 5か所 担当課 生涯学習・文化財保護課

事業名	事業内容	成果指標
青少年健全育成推進事業	青少年育成大野市民会議に委託し、小中高校へ見守り活動等の活動支援や研修会、啓発手紙、推進大会の実施等を通して、青少年の健全育成活動の推進を図る。	なし



目指す姿

市民が、生涯にわたって主体的に学び、地域づくりに積極的に取り組むまち

(1) 地域を担う人づくりや生涯学習を推進します

- ①若者や女性をはじめ、より多くの人たちの地域活動への参加を促し、地域に必要な人材を育成します。
- ②公民館の行事や講座、地域団体の活動を通し、世代間交流を図ります。
- ③誰もが、生涯を通して時代に即した学習が行えるよう、生涯学習センターや公民館、図書館などが一体となって情報を発信し、学習の機会を提供します。
- ④大野市男女共同参画プランや大野市人権施策基本方針に基づき、市民への啓発活動や学習活動などを行い、男女共同参画の社会を推進し、人権を尊重する人づくりに取り組みます。

➤ 主な事業と成果指標

事業名	事業内容	成果指標
ふるさと大野かがやき隊事業 [再掲：子育て(2)]	児童生徒が自らの地域の自然や文化、歴史などについて学習したことを基に課題を見出し、その課題解決や地方創生に向けて他者へ発信する活動を通して、ふるさとに誇りや愛着を持ち、地域の魅力を発信できる人材を育成する。	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査) 令和3年度 小学校：69.0% 中学校：45.0% 令和7年度 小学校：74.0% 中学校：47.5% 担当課 教育総務課

事業名	事業内容	成果指標
結の故郷ふるさと教育推進事業 [再掲：子育て（２）]	家庭やふるさとへの愛着と誇りを養い、結の心を育むため、家庭教育、少年教育、公民館で行う人づくり学習事業、結の故郷ふるさと芸能発表会を行う。	市民１人当たりの生涯学習事業参加回数 令和３年度 ０．５７回 令和７年度 ０．５８回 担当課
生涯学習推進事業	生涯学習の重要性を広く啓発するとともに、学習の情報並びに機会を提供し、生涯学習社会の機運を高める。	生涯学習・文化財保護課
生涯学習人材活用事業	仕事や趣味で身につけた知識や技能を持ち、社会参加に熱意のある人に生涯学習の指導者として登録していただき、市民の求めに応じて派遣することにより、生涯学習活動の振興及び充実を図る。	
読書推進事業	読書活動の推進と図書館利用の拡大を図るため、読書会や各種講座、図書館まつり等を実施する。	
成人式事業	成人としての自覚を促しふるさと大野を見つめなおす機会とし、教育理念に基づいたふるさと大野を思う、優しく、賢く、たくましい「大野人」の育成を図る。	なし
青年活動推進事業補助	地域に根ざした青年組織の活性化を図るとともに、組織での活動を通じて将来的に各地区で活躍できる人材の育成を図る。青年活動の活性化を通して、「若者の自然な出会い、交流の拡大」を図る。	なし
人権同和教育推進事業	人権及び同和問題に関する啓発や学習を通して、正しい知識を持ち、人権尊重の意識を高める。	なし
生涯学習推進計画策定事業	生涯学習推進計画の策定	なし

(2) 地域での交流を深め、支え合いを広げます

- ①地域の活性化や課題解決、住民の世代間交流などを進める事業を支援します。
- ②地域による登下校の見守り活動を行うとともに、地域ならではの行事への参加や自然との触れ合いなど、子どもたちの人や自然と関わるさまざまな機会をつくります。

➤ 主な事業と成果指標

事業名	事業内容	成果指標
結の故郷ふるさと教育推進事業 [再掲：子育て(2)]	家庭やふるさとへの愛着と誇りを養い、結の心を育むため、家庭教育、少年教育、公民館で行う人づくり学習事業、結の故郷ふるさと芸能発表会を行う。	市民1人当たりの生涯学習事業参加回数 令和3年度 0.57回 令和7年度 0.58回 担当課 生涯学習・文化財保護課 ※関連事業 ・生涯学習推進事業 ・生涯学習人材活用事業 ・読書推進事業
青少年健全育成推進事業 [再掲：学び(3)]	青少年育成大野市民会議に委託し、小中高校へ見守り活動等の活動支援や研修会、啓発手紙、推進大会の実施等を通して、青少年の健全育成活動の推進を図る。	なし

(3) 地域住民が利用しやすい活動拠点をつくります

- ①地域づくりや生涯学習の拠点として、働く世代や子育て世代などあらゆる世代が公民館を利用できるよう運営方法を工夫し、地域住民が気軽に集うことができる身近な公民館とします。
- ②図書館の蔵書の充実を図り、市民の学習や情報収集へのニーズに対応します。

➤ 主な事業と成果指標

事業名	事業内容	成果指標
図書館管理運営経費	図書館の管理運営に要する経費	市民1人当たりの年間図書館利用回数 令和3年度 3.0回 令和7年度 3.2回 担当課 生涯学習・文化財保護課



目指す姿

市民が文化や芸術に親しみ、文化財や伝統文化が継承され、郷土の歴史や文化の魅力が発信されているまち

(1) 文化芸術の振興と継承を推進します

- ①文化水準の向上を目指し、文化活動の拠点となる新たな文化会館の整備について検討を進めます。
- ②市民が気軽に参加し、文化芸術に触れることのできる機会を創出します。
- ③市民の文化芸術活動への支援を引き続き行い、文化芸術の振興を促進します
- ④地域の伝統行事や伝統芸能、伝統料理などを子どもたちに伝える活動を推進します。
- ⑤市内に所在する国や県、市の指定文化財などを良好な状態で後世に伝えるため、所有者や管理者の負担軽減を図ります
- ⑥「大野市文化財保存活用地域計画」を策定し、計画に基づいた文化財の保存と活用を推進します。

➤ 主な事業と成果指標

事業名	事業内容	成果指標
伝統文化伝承事業	結の故郷伝統文化伝承条例に基づき、「おおの遺産」を認証し、地域に受け継がれてきた風習や伝統芸能の伝承、景観の保全等に努める。	結の故郷伝統文化「おおの遺産」の認証件数（累計） 令和3年度 19件 令和7年度 30件 担当課 生涯学習・文化財保護課

(2) 文化遺産・自然遺産を保護し活用します

- ①文化財を保存継承するために、新たな文化財の発掘に努め、指定文化財などの増加を図ります。
- ②化石を産出する地層や淡水型イトヨとその生息環境などの自然遺産を保護し活用するため、研究機関と協力して調査研究と活用を進めます。

➤ 主な事業と成果指標

事業名	事業内容	成果指標
文化財環境保全事業	管理や指定文化財の修理等に要した経費に対する補助金を交付し、文化財の適正管理及び保護啓発を図る。	なし
文化財保存活用地域計画策定事業	文化財保護法に基づき、文化財保護のアクションプランである『文化財保存活用地域計画』を策定し、文化庁の認定を目指す。	なし (令和3年度は計画策定の最終年度)
化石保全事業	化石産出地の調査を進め、大野の化石と地層が持つ学術的価値を紹介し、化石資源の保全と活用を図る。	化石に関する企画展の入場者数 令和3年度 1,000人 令和7年度 1,200人 担当課 生涯学習・文化財保護課
民俗資料館管理運営経費	市指定文化財(建造物)で、主に郷土の民俗に関する資料を収集・保管・展示している民俗資料館の維持管理を行う。	博物館などにおける企画展や講座開催数 令和3年度 5回 令和7年度 5回
歴史博物館管理運営経費	主に郷土の歴史に関する資料を収集・保管・展示している歴史博物館の管理運営などを行う。	担当課 生涯学習・文化財保護課

(3) 郷土の歴史や文化の魅力を発信します

①博物館などにおいて、展示や講座、講演会などを開催し、郷土の成り立ちや文化財、伝統文化に対する市民の理解を深めます。

②郷土の歴史や文化財、伝統文化を市内外に発信します。

➤ 主な事業と成果指標

事業名	事業内容	成果指標
ふるさと大野かがやき隊事業 [再掲：学び（1）]	児童生徒が自らの地域の自然や文化、歴史などについて学習したことを基に課題を見出し、その課題解決や地方創生に向けて他者へ発信する活動を通して、ふるさとに誇りや愛着を持ち、地域の魅力を発信できる人材を育成する。	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査) 令和3年度 小学校：69.0% 中学校：45.0% 令和7年度 小学校：74.0% 中学校：47.5% 担当課 教育総務課
化石保全事業 [再掲：文化：芸術（2）]	化石産出地の調査を進め、大野の化石と地層が持つ学術的価値を紹介し、化石資源の保全と活用を図る。	化石に関する企画展の入場者数 令和3年度 1,000人 令和7年度 1,200人 担当課 生涯学習・文化財保護課
民俗資料館管理運営経費 [再掲：文化：芸術（2）]	市指定文化財（建造物）で、主に郷土の民俗に関する資料を収集・保管・展示している民俗資料館の維持管理を行う。	博物館などにおける企画展や講座開催数 令和3年度 5回 令和7年度 5回
歴史博物館管理運営経費 [再掲：文化：芸術（2）]	主に郷土の歴史に関する資料を収集・保管・展示している歴史博物館の管理運営などを行う。	担当課 生涯学習・文化財保護課



越前おおの